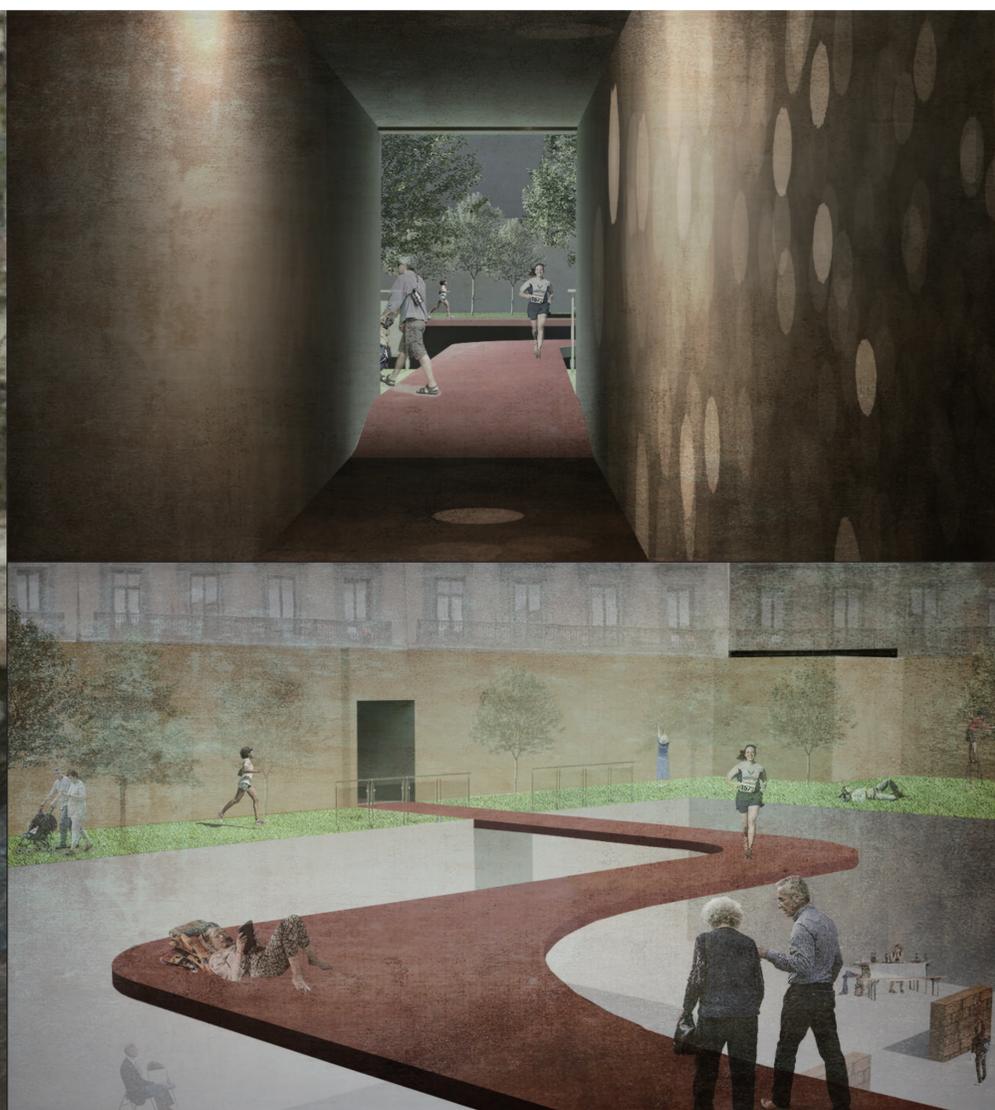


# バルセロナらしいヴォイドの使い方

- ヴォイドが生む人々の繋がり -

4BEB2236 岩崎 達



## バルセロナの現状

バルセロナはコンペティションによって作られた計画された構造を持つ都市である。以前あった小さな町をつなげるために道路を三つ造りその間に新しい都市を作った。また、四角いブロックが左右に均等に配置されており同じような形が並ぶ。勿論、サグラダファミリアもこのブロックの規則を守って作られている。

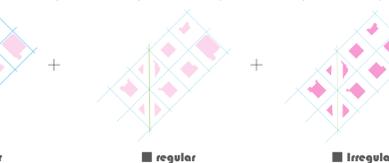
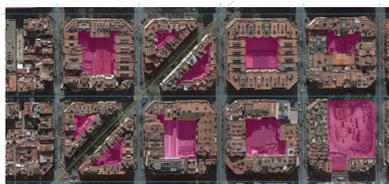
一方、このブロックの中にはヴォイドがあり、そのブロックに住んでいる人の共有の場所になっていたり、公園になっていたりしている。また、内部に対して一階部分が飛び出ているものがあり、そこはテラスとして二階の住人が使っている。バルセロナのこのブロック内は外部に対してのテラスはなく、内部に対してテラスを作るようになっており、内部のヴォイドはそのブロックによって異なる形になっている。

### ■ブロック内と外の関係性

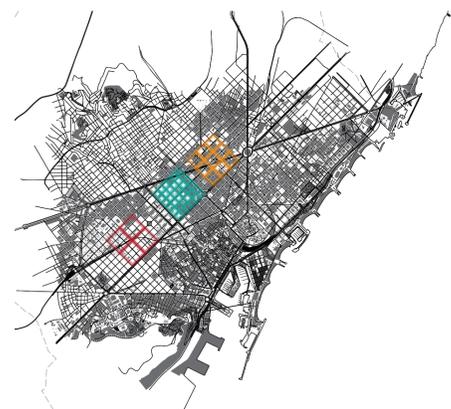


## 計画されたブロックに起きている問題

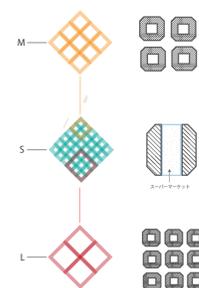
ヴォイドは公園になっていたりスーパーマーケットになっていたたりし、使われている場所がある一方、うまく使われず廃れてしまっているヴォイドもある。また、ブロック同士の関係性を見てみると、幅の広い道路によりブロック同士の関係性が築かれておらず、ブロック内でコミュニティが完結してしまっている。



## バルセロナの街の構造から見てくる規則性



### ■BLOCK TYPE



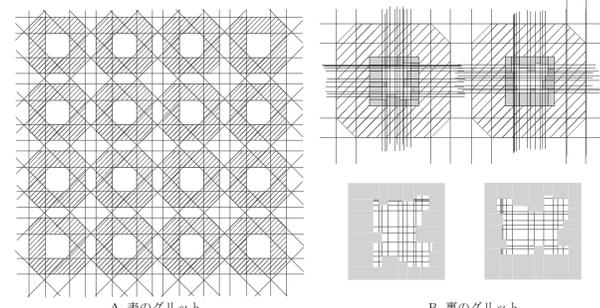
Medium サイズで区画を考えると区画同市の関係を強くすることができ、またそのブロックの住人だけの場所であった中央の空間を外部の人にも開放できる。また、その開放をブロック同士で関係付けすることができる。

現在のバルセロナのスーパーなどの多くは、一番小さいブロックの規則に習いスーパーマーケットなどが作られている。しかし、これには限界があり、外部に開いていないブロックは、内部を有効に使われていない。

Small サイズの大きさのブロックを3x3でひとブロックにした Large サイズのブロックは、範囲が大きすぎて、端と端をつなげることは難しい。

## ヴォイドから生まれる、不規則なもう一つのグリッド

バルセロナは計画都市であるため、規則性が多くそれをグリッドにできる。一方で住人によって作られた中のテラスは不規則に飛び出し、そこに規則性がない。テラスの中心にヴォイドがあるのは住宅から遠いからであり、計画されて作られた場合このような空間は生まれにくい。規則性がない分そのボックス内でしかできないヴォイドの空間ができ、その不規則なテラスを基に、バルセロナのもう一つのグリッドを見つけることができる。

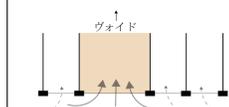


## 人を集める / バルセロナにない素材を使う

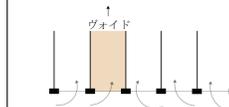
バルセロナの人は外で行う運動が好きで、ランニングやウォーキング、夏には多くの人が海や山へ出かける。しかし、街には同じ風景が並びランニングする人にとって面白くない。そこで、廃れてしまっているブロック内のヴォイドにスポーツの分野に特化した図書館、ジム、スーパーマーケット、クッキングスタジオを作り、そこに連続しているようなランニングコースを上乗せすることにより、今まで築かれなかったブロック同士の関係を築くことが可能になる。

### ■DIAGRAM

A. 店の入り口を大きくした場合



B. 他の店と同じ入口の大きさをした場合



### ■SITE



### ■ZONING

